

平成25年度の社会福祉法人 山栄会は開所2年目の千曲事業所が業績を伸ばしました。千曲デイサービスが前年比1,801名、ショートステイ千曲が同958名の利用者増となり、地域に貢献が認められる施設になりつつあります。一方で佐久市に大規模特養が開設され一時的に在宅介護から施設介護へ利用者の移行があった影響により、ショートステイ佐久だいらが秋まで7ヶ月間苦戦をし前年比で利用者減になりました。その他の事業所は前年比で利用者増の実績を残しました。

- ・広報活動は地域も広範囲となりましたが、山栄会のホームページの各事業所ブログの投稿、毎月発行の山栄会新聞、居宅訪問でケアマネ殿に利用者様の近況報告、ポスティング等地域の皆様とのコミュニケーションを大切にす積極的な活動が実施できました。
- ・職員の教育は従来通り教育委員会を中心に、口腔ケア、救急救命、感染症、事故防止、個人情報保護、外部講師を招いての認知症・介護実技講習会で学習しスキルアップを図っています。また県社協等による外部での研修会にも職員のキャリアパスに従い積極的に参加しています。
- ・事故防止のため、各事業所より出た事故報告書(含む ひあり・はっと)を基に、事故防止委員会で状況・対処・今後の対応を全員で検討し再発防止に努めています。また事故発生の事業所では職員一人一人が発生の原因分析・再発防止策を記入しています。
- ・看護師および栄養士を中心とした、感染症予防委員会を設置し活動した成果として、今年度も各事業所においてノロウイルス・インフルエンザの集団感染はありませんでした。
- ・食事については、栄養士が中心となり山栄会の食事のあり方を、月1回の食事検討会を含めて委託業者(日清医療食品)と確認しています。(食事検討会は理事長出席)
その成果として山栄会の食事は各地のケアマネ殿からも高い評価を頂いています。
- ・毎週金曜日の13:00よりおこなわれる、理事長と各事業所責任者が出席する金曜会において、実績の確認、理事長の意思・方針の通達、集客・広報の計画・決定、事業所の運営・管理の確認をおこなっています。

— 以上 —